

# 放射性物質試験の最新成果情報（1）

## 1 果樹の樹体に付着した放射性物質の除染対策

福島県農林水産部

### 1 果樹の樹体に付着した放射性物質の除染対策を確立しました

放射性物質の付着により汚染されている果樹類の主枝で、粗皮剥ぎ（はぎ）や粗皮削りを実施すると、汚染程度が著しく軽減されることが明らかになりましたので、作業が可能な範囲で実施してください。

#### （1）調査結果

ア 農業総合センター果樹研究所において、5種類の果樹（モモ、オウトウ、リンゴ、ナシ、ブドウ）の主枝表面の放射線量を測定した結果、上部の汚染程度が側部や下部に比較して高い状況でした（図1）。

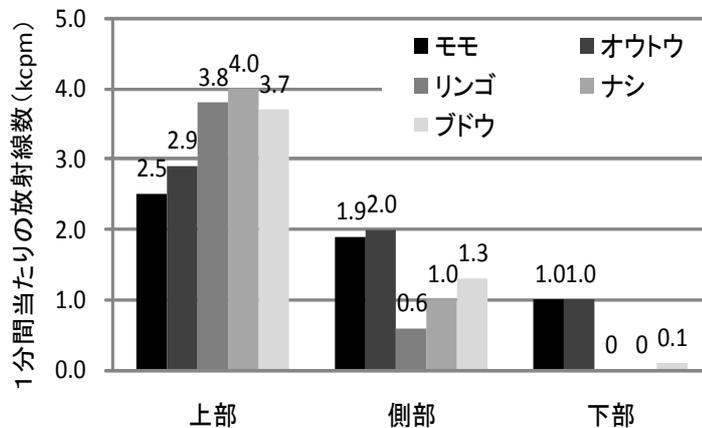


図1 主枝表面の部位別(円周方向)放射線量  
(農業総合センター果樹研究所)  
※ GMカウンターで測定

イ ブドウ樹とナシ樹でそれぞれ粗皮剥ぎ、粗皮削りを実施したところ、放射性物質による汚染程度が減少しました（図2、3）。

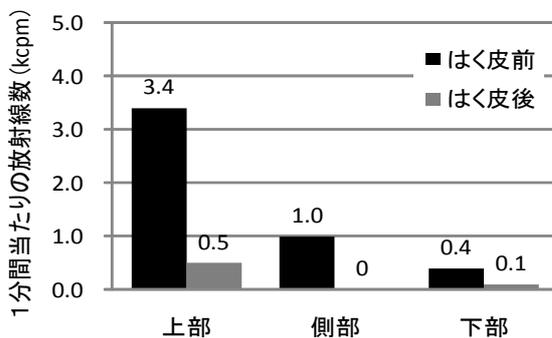


図2 ブドウ「あづましずく」の主枝の剥皮処理と放射線量  
(農業総合センター果樹研究所)  
※ GMカウンターで測定

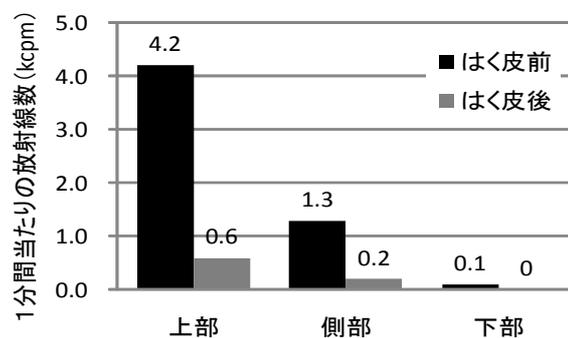


図3 ナシ「幸水」の主枝の剥皮処理と放射線量  
(農業総合センター果樹研究所)  
※ GMカウンターで測定

ウ 放射性物質が降下した時期、これらの果樹の生育ステージは発芽前であり、果実や葉に放射性物質が付着しているわけではありません。

## (2) 処理方法

- ア 粗皮が形成され、これらを取り除くことが可能な形態をもつ果樹（ブドウ、ナシ、リンゴ、カキ）で実施します。
- イ 主幹部と主枝の上部および側部を中心に、ブドウは粗皮剥ぎや粗皮削り、ナシ、リンゴ、カキは粗皮削りを実施します。ブドウの粗皮剥ぎは、古くなり枝幹部から剥がれてきた樹皮（粗皮）を引きはがします。ブドウ、ナシ、リンゴ、カキの粗皮削りは、専用の削り器具を使用して、かき落とすように古くなった樹皮（粗皮）を削ります。
- ウ 粗皮削りは、生きた樹皮まで傷つけないよう粗皮の部分だけ削り落とすよう注意してください。
- エ 主幹や主枝の基部などで、周辺に果実がないところを中心に実施します。



図4 粗皮削りの作業風景（左：ブドウ、右：ナシ）

## (3) 作業上の留意点

- ア 作業にあたっては、ちりやほこりを吸い込まないようにマスクをするとともに、ゴム手袋や長靴等を着用してください。また、作業終了後は、手足、顔等の露出部分を洗浄し、屋内に入るときは、服を着替えるなどしてちりやほこりを持ち込まないように注意してください。
- イ 降雨後の曇りの日で樹体が濡れているときなど、ちりが飛散しにくい時に実施してください。
- ウ 高圧洗浄機を利用した粗皮削りは、放射性物質が飛散し果実へ付着する危険性がありますので、高圧洗浄機による生育期間中の粗皮削りは控えてください。
- エ ブドウでは果実への付着のリスクを極力低く抑えるため、カサかけ、袋かけが終了した後、粗皮剥ぎを実施してください。
- オ ナシ、リンゴでは、粗皮が形成されていない若木時代には、粗皮削りを行うことはできません。
- カ 粗皮に付着した放射性物質は、土壤に放射性物質が降下したのと同時期に付着したものであり、これらが土壤に落ちて土と混和されても、土壤中の放射性物質濃度が大幅に上昇することは無いと考えられます。

問い合わせ先：農林水産業に関する相談窓口（電話：024-521-7319）

ホームページ：農林水産部研究技術室ホームページ（PDF形式ファイル）

URL <http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukuyuu/seiikugijyutsujyohou.html>

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報  
（右欄に掲載のQRコードよりご覧いただけます）



モバイル版 QRコード